

図書館だより 2025.3月号

農芸高校図書館 2025.3.12 発行

もうすぐ春休みです。
新年度に向けての目標を定める人もいるでしょうか。
いつもより少し時間ができるこの時期、読書も取り入れて
視野を広げる機会にしてください。

春休み前の長期貸出について

3月3日(月)～3月21日(金)に借りた本は、
4月11日(金)まで
借りることができます。
冊数制限はありません。この機会にぜひ
利用してください。

- ・会議など、職員不在で閉館することがあります。
返却する本は入り口前のポストへ入れてください。
- ・貸出期間は2週間です。延長したいときは手続きをしてください。

本屋大賞の候補作10点も入りました。
すでに複数の文学賞を受賞していたり、
ノミネートが常連の作家さんも。
大賞発表は4月9日(水)午後です！

<図書委員のおすすめ本>

(掲載した書影は、国立国会図書館サーチの書影 API のデータ
(データ提供機関: 出版情報登録センター)を利用しています。)



『手紙』 東野圭吾 著 毎日新聞出版

兄の犯行で人生が大きく変わった主人公が社会の偏見と戦いながら前に進んでいく物語です。家族や人との絆を描きながら、罪と向き合う姿に心が揺さぶられます。最後には希望が感じられ、読んだ後もずっと考えさせられる、強いメッセージが残る一冊です。



『夢をかなえるゾウ』 水野敬也 著 文響社

主人公は人生を変えようとして何かを始めるけどすべて三日坊主に終わってしまうサラリーマン。しかしある日、彼の目の前にゾウの姿をした奇妙な生き物が現れる。この本は、主人公が自分の望む未来を実現するために夢を具体的な目標へと変える過程を経験できる。ぜひ読んでみて下さい。

<新しく入った本から>

「もしものせかい」

ヨシタケシンスケ 著 ポプラ社

壁にぶつかったり、落ち込んだり。失敗や後悔は誰にでも起こるものですが、読めばきっと心が軽くなります。



「星の教室」

高田郁 著 角川春樹事務所

今年4月、三重県には夜間中学が開校します。この小説は中学の卒業証書を受け取っていない20歳の主人公が夜間中学に入り、さまざまな背景を持つ人たちとともに学ぶ姿を描いています。



「こころにそっとよりそう星空の話」

永田美絵 著 イースト・プレス

夜の冷え込みもやわらぎ、星空を見上げるのもいい季節になってきました。日常のモヤモヤも、天空というスケールの大きさを前にすれば世界の見え方が変わるかもしれません。



図解でわかる 14 歳から知るイスラム教

山折哲雄 総監修 私市正年 監修

図解でわかる 14 歳から知るキリスト教

山折哲雄 監修

インフォビジュアル研究所 著 太田出版

オールカラーでわかりやすいシリーズの2冊です。基礎知識のほか暮らしや文化、歴史を知ること、日々のニュースが理解しやすくなるかもしれません。

コーヒーを飲んで学校を建てよう

キリマンジャロ・フェアトレードの村をたずねる

ふしはらのじこ 文・絵 辻村英之 監修 実生社

アフリカ最高峰のキリマンジャロ。山間の村ではコーヒー栽培が最大の収入源です。私たちがカフェや家庭で楽しむコーヒーの価格が安すぎるとどのようなことが起こるでしょうか。絵本作家が現地を訪れ、暮らしの様子とともに伝えます。



自分ゴトとして考える難民問題

SDGs 時代の向き合い方

日下部尚徳 著 岩波書店

日本で暮らす私たちにとって実態を知る機会はその多くないかもしれません。危険を冒して国境を越える人たちの数は、日本の人口に匹敵する規模とも言われます。この本では、ミャンマーのロヒンギャを中心に背景やキャンプでの暮らしを解説します。

料理は知識が9割

シェフクリエイト 著 オレンジページ

おいしいと感じる塩分濃度は？ カレーの旨味を作るのはどの組み合わせ？ など、なぜこの分量や手順なのかを知ることで、料理が楽しくなりそうです。

現場発

災害時に子どもを支える

伊藤駿・中谷丸 著 岩波書店

災害が起こったとき、子どもたちの日常や学校生活にはどのような影響があるのでしょうか。高校生のみなさんが支え役としてできることは何でしょうか。

